

# 古文ドリル：「参る」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

## はじめに：「参る」の正体（3用法）

古文の「参る」は、**直前が体言か連用形か**、そして**飲食物が対象か**を見れば見分けられます。基本は謙譲語ですが、飲食の場面では尊敬語になる点に注意します。

用法	接続・条件	訳	例
① 本動詞・謙譲	体言+参る	参上する／差し上げる	内裏に <b>参る</b>
② 補助動詞・謙譲	連用形+参る	～申し上げる	思ひ <b>参る</b>
③ 本動詞・尊敬	飲食物+参る	召し上がる	御薬 <b>参る</b>

### 識別の鉄則

- 直前が動詞の連用形（思ひ・聞こえ など）→ 補助動詞・謙譲「～申し上げる」。
- 直前が体言で、目的地（内裏・御前 など）→ 本動詞・謙譲「参上する」。
- 直前が体言で、差し出す物（御文・花 など）→ 本動詞・謙譲「差し上げる」。
- 直前が飲食物（御薬・御粥・御酒 など）で、主語が貴人→ 本動詞・尊敬「召し上がる」。
- 「参る」は基本「謙譲」。飲食の尊敬だけ例外、と覚える。

## 🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

### コツ① まず直前が連用形か体言か

- 連用形+参る（思ひ参る・聞こえ参る）→ 補助動詞「～申し上げる」。
- 体言+参る → 本動詞。次に「場所か・物か・飲食物か」で訳を決める。

### コツ② 体言なら「場所・物・飲食物」で訳し分け

- 場所（内裏に・御前に）→ 「参上する」。
- 物（御文を・花を）→ 「差し上げる」。
- 飲食物（御薬・御粥）+ 貴人が主語 → 「召し上がる」（尊敬）。

### コツ③ 「参る」は原則謙譲、飲食だけ尊敬

- 迷ったら謙譲（参上する／差し上げる／～申し上げる）。
- 「召し上がる」と訳すのは飲食の場面だけ。

### よくある引っかけ

- 「参り給ふ」は謙譲「参る」＋尊敬「給ふ」の二重敬語。
- 「参らす」は別の一語（本動詞「差し上げる」／補助動詞「～申し上げる」）。
- 「飲む・食ふ」の尊敬「召し上がる」を謙譲と取り違えない。

## 採点表

各セクションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- 基礎（Q1～Q20）： /20
- 標準（Q21～Q50）： /30
- 応用（Q51～Q80）： /30
- 入試レベル（Q81～Q100）： /20
- 合計： /100

## 【第1部】基礎編（Q1～Q20）

本動詞（参上する／差し上げる）・補助動詞（～申し上げる）・尊敬（召し上がる）を見分ける。

### Q1. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

内裏に参る。

**答え：**本動詞・謙譲「参る」（参上する） **解説：**直前「内裏に」は目的地を示す体言＋格助詞。本動詞で「行く」の謙譲＝「内裏に参上する」。謙譲。

### Q2. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

思ひ参る。

**答え：**補助動詞・謙譲「参る」（～申し上げる） **解説：**「思ひ」は四段「思ふ」連用形。連用形＋参るで補助動詞。「思い申し上げる」。謙譲。

**Q3. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御前に**参る**。

**答え**：本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説**：直前「御前に」は体言＋格助詞（目的地）。本動詞で「御前に参上する」。謙讓。

---

**Q4. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御菓**参る**。

**答え**：本動詞・尊敬「参る」（召し上がる） **解説**：直前「御菓」は飲食物（菓）。主語は貴人で、「飲む」の尊敬＝「お菓を召し上がる」。尊敬。

---

**Q5. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

聞こえ**参る**。

**答え**：補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説**：「聞こえ」は下二段「聞こゆ」連用形。連用形＋参るで補助動詞。「申し上げる」。謙讓。

---

**Q6. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御文を**参る**。

**答え**：本動詞・謙讓「参る」（差し上げる） **解説**：直前「御文を」は差し出す物を示す体言＋格助詞。本動詞で「与ふ」の謙讓＝「お手紙を差し上げる」。謙讓。

---

**Q7. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

寺に**参る**。

**答え**：本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説**：直前「寺に」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「寺に参上する（参詣する）」。謙讓。

---

**Q8. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

申し**参る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説：**「申し」は四段「申す」連用形。連用形＋参るで補助動詞。「申し上げる」。謙讓。

---

**Q9. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御粥（かゆ）**参る**。

**答え：**本動詞・尊敬「参る」（召し上がる） **解説：**直前「御粥」は飲食物。主語は貴人で、「食ふ」の尊敬＝「お粥を召し上がる」。尊敬。

---

**Q10. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

宮に**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「宮に」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「宮（御殿）に参上する」。謙讓。

---

**Q11. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

見**参る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説：**「見」は上一段「見る」連用形。連用形＋参るで補助動詞。「見申し上げる（拝見する）」。謙讓。

---

**Q12. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

花を**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（差し上げる） **解説：**直前「花を」は差し出す物の体言＋格助詞。本動詞で「花を差し上げる」。謙讓。

---

**Q13. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御酒（みき）**参る**。

**答え：**本動詞・尊敬「参る」（召し上がる） **解説：**直前「御酒」は飲食物。主語は貴人で、「飲む」の尊敬＝「お酒を召し上がる」。尊敬。

---

Q14. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

都に参る。

答え：本動詞・謙讓「参る」（参上する） 解説：直前「都に」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「都に参上する」。謙讓。

Q15. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

仕うまつり参る。

答え：補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） 解説：「仕うまつり」は四段連用形。連用形＋参るで補助動詞。「お仕え申し上げる」。謙讓。

Q16. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御前に御膳（おもの）参る。

答え：本動詞・尊敬「参る」（召し上がる） 解説：「御膳（おもの）」は食事。主語が貴人で「食ふ」の尊敬＝「お食事を召し上がる」。尊敬。

Q17. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

神社に参る。

答え：本動詞・謙讓「参る」（参上する） 解説：直前「神社に」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「神社に参詣する」。謙讓。

Q18. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

奉り参る。

答え：補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） 解説：「奉り」は四段「奉る」連用形。連用形＋参るで補助動詞。「差し上げ申し上げる」。謙讓。

Q19. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御琴（こと）を参る。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（差し上げる） **解説：**直前「御琴を」は差し出す物の体言＋格助詞。本動詞で「お琴を差し上げる」。謙讓。

---

**Q20. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

殿の御前に**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「御前に」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「殿の御前に参上する」。謙讓。

---

## 【第2部】 標準編（Q21～Q50）

---

体言か連用形か、物か場所か飲食物かを確実に見分ける。

---

**Q21. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

帝の御もとに**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「御もとに」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「帝のお側に参上する」。謙讓。

---

**Q22. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

慰め**参る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説：**「慰め」は下二段「慰む」連用形。連用形＋参るで補助動詞。「お慰め申し上げる」。謙讓。

---

**Q23. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御物（おもの）を**参る**。

**答え：**本動詞・尊敬「参る」（召し上がる） **解説：**「御物」は食事。主語が貴人なら「食ふ」の尊敬＝「召し上がる」。尊敬。

---

**Q24. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御簾（みす）のうちに**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「うちに」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「御簾の内に参上する」。謙讓。

---

**Q25. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

数珠（ずず）を**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（差し上げる） **解説：**直前「数珠を」は差し出す物の体言＋格助詞。本動詞で「数珠を差し上げる」。謙讓。

---

**Q26. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

知り**参る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説：**「知り」は四段「知る」連用形。連用形＋参るで補助動詞。「存じ上げる」。謙讓。

---

**Q27. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

後の宮に**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「宮に」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「後の宮に参上する」。謙讓。

---

**Q28. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御湯（ゆ）**参る**。

**答え：**本動詞・尊敬「参る」（召し上がる） **解説：**「御湯」は飲み物（白湯）。主語が貴人で「飲む」の尊敬＝「召し上がる」。尊敬。

---

**Q29. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御文を書きて**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（差し上げる） **解説：**「書いて」の後、改めて「参る」。物（御文）を差し出す本動詞で「お手紙を書いて差し上げる」。謙讓。

---

**Q30. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

頼み**参る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説：**「頼み」は四段「頼む」連用形。連用形＋参るで補助動詞。「お頼り申し上げる」。謙讓。

---

**Q31. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御所に**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「御所に」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「御所に参上する」。謙讓。

---

**Q32. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御くだもの（果物）**参る**。

**答え：**本動詞・尊敬「参る」（召し上がる） **解説：**「御くだもの」は飲食物（菓子・果物）。主語が貴人で「食ふ」の尊敬＝「召し上がる」。尊敬。

---

**Q33. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御前に文を**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（差し上げる） **解説：**差し出す物「文を」が直前。本動詞で「御前に手紙を差し上げる」。謙讓。

---

**Q34. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

馴れ**参る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説：**「馴れ」は下二段「馴る」連用形。連用形＋参るで補助動詞。「お親しみ申し上げる」。謙讓。

---

**Q35. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

春宮（とうぐう）に**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「春宮に」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「春宮（皇太子）に参上する」。謙讓。

---

**Q36. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御冠（かうぶり）を**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（差し上げる） **解説：**「御冠を」は差し出す物（着用させる物）。本動詞で「お冠を差し上げる（おつけ申し上げる）」。謙讓。

---

**Q37. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

申し上げ**参る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説：**「申し上げ」は連用形。連用形＋参るで補助動詞。「申し上げる」。謙讓。

---

**Q38. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御堂（みだう）に**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「御堂に」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「御堂に参詣する」。謙讓。

---

**Q39. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御箸（はし）とりて御物**参る**。

**答え：**本動詞・尊敬「参る」（召し上がる） **解説：**「御物」は食事。主語が貴人で「食ふ」の尊敬＝「召し上がる」。尊敬。

---

**Q40. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御前を立ちて宮に**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「宮に」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「宮に参上する」。謙讓。

---

**Q41. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御覽ぜさせ**参る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説：**「御覽ぜさせ」は連用形。連用形＋参るで補助動詞。「お見せ申し上げる」。謙讓。

---

**Q42. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

やがて内裏に**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「内裏に」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「そのまま内裏に参上する」。謙讓。

---

**Q43. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御衣（おんぞ）を**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（差し上げる） **解説：**「御衣を」は差し出す物（着用させる物）。本動詞で「お召し物を差し上げる（お着せ申し上げる）」。謙讓。

---

**Q44. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御湯漬（ゆづけ）**参る**。

**答え：**本動詞・尊敬「参る」（召し上がる） **解説：**「御湯漬」は食事（湯漬け飯）。主語が貴人で「食ふ」の尊敬＝「召し上がる」。尊敬。

---

**Q45. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

守り**参る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説：**「守り」は四段「守る」連用形。連用形＋参るで補助動詞。「お守り申し上げる」。謙讓。

---

**Q46. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

院の御所に**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「御所に」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「院の御所に参上する」。謙讓。

**Q47. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御鏡（かがみ）を**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（差し上げる） **解説：**「御鏡を」は差し出す物。本動詞で「お鏡を差し上げる」。謙讓。

**Q48. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御湯（ゆ）など**参る**。

**答え：**本動詞・尊敬「参る」（召し上がる） **解説：**「御湯など」は飲み物。主語が貴人で「飲む」の尊敬＝「召し上がる」。尊敬。

**Q49. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

いざなひ**参る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説：**「いざなひ」は四段「いざなふ」連用形。連用形＋参るで補助動詞。「お誘い申し上げる」。謙讓。

**Q50. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

大宮に**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「大宮に」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「大宮に参上する」。謙讓。

## 【第3部】 応用編（Q51～Q80）

「参らす」、二重敬語「参り給ふ」、紛らわしい文脈を見分ける。

**Q51. 次の傍線部「参らす」を識別せよ。**

御文を**参らす**。

**答え：**本動詞・謙讓「参らす」（差し上げる） **解説：**「参らす」は下二段の一語の謙讓動詞。直前「御文を」（物）なので本動詞「差し上げる」。「お手紙を差し上げる」。謙讓。

**Q52. 次の傍線部「参らす」を識別せよ。**

思ひ**参らす**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参らす」（～申し上げる） **解説：**「参らす」が連用形「思ひ」の後にあるので補助動詞。「思い申し上げる」。謙讓。

**Q53. 次の傍線部「参り」を識別せよ。**

内裏に**参り**給ふ。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**「参り」は連用形。直前「内裏に」（目的地）で本動詞「参上する」。後ろの「給ふ」は尊敬で、謙讓+尊敬の二重敬語。「内裏に参上なさる」。

**Q54. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御几帳（きちやう）のもとに**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「もとに」は目的地の体言+格助詞。本動詞で「御几帳のそばに参上する」。謙讓。

**Q55. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御薬など**参る**べし。

**答え：**本動詞・尊敬「参る」（召し上がる） **解説：**「御薬など」は飲食物。主語が貴人で「飲む」の尊敬＝「召し上がるのがよい」。尊敬。

**Q56. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

ねんごろに頼み**参る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説：**「頼み」は四段連用形。連用形＋参るで補助動詞。「心からお頼り申し上げる」。謙讓。

---

**Q57. 次の傍線部「参らせ」を識別せよ。**

御返り**参らせ**けり。

**答え：**本動詞・謙讓「参らす」（差し上げる） **解説：**「参らせ」は「参らす」の連用形。直前「御返り（御返事）」は物。本動詞で「お返事を差し上げた」。謙讓。

---

**Q58. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

われも御供に**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「御供に」は目的・同行を示す体言＋格助詞。本動詞で「お供として参上する」。謙讓。

---

**Q59. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御文を見せ**参る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説：**「見せ」は下二段「見す」連用形。連用形＋参るで補助動詞。「お見せ申し上げる」。謙讓。

---

**Q60. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御台（みだい）に物**参る**。

**答え：**本動詞・尊敬「参る」（召し上がる） **解説：**「物（食事）」が対象で、主語が貴人。「食ふ」の尊敬＝「召し上がる」。尊敬。

---

**Q61. 次の傍線部「参り」を識別せよ。**

急ぎ**参り**て、申す。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**「参り」は連用形＋接続助詞「て」。文脈は移動で、目的地への参上＝本動詞「急いで参上して」。謙讓。

---

**Q62. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御前に琴を**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（差し上げる） **解説：**差し出す物「琴を」が直前。本動詞で「御前に琴を差し上げる」。謙讓。

**Q63. 次の傍線部「参らする」を識別せよ。**

申し**参らする**こと。

**答え：**補助動詞・謙讓「参らす」（～申し上げる） **解説：**「参らする」は「参らす」の連体形。連用形「申し」の後で補助動詞。「申し上げる（こと）」。謙讓。

**Q64. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御湯殿（ゆどの）に**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「御湯殿に」は目的地（場所）の体言＋格助詞。本動詞で「御湯殿に参上する（お仕えに行く）」。謙讓。

**Q65. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御薬**参り**給ふ。

**答え：**本動詞・尊敬「参る」（召し上がる） **解説：**「御薬」は飲食物で、主語が貴人。「飲む」の尊敬「召し上がる」＋「給ふ」でさらに高める。「お薬を召し上がる」。尊敬。

**Q66. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

恋ひ**参る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説：**「恋ひ」は上二段「恋ふ」連用形。連用形＋参るで補助動詞。「お慕い申し上げる」。謙讓。

**Q67. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

後の御方に**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「御方に」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「後のもとに参上する」。謙讓。

---

**Q68. 次の傍線部「参らせ」を識別せよ。**

御車に乗せ**参らせて**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参らす」（～申し上げる） **解説：**「参らせ」は「参らす」連用形。連用形「乗せ」の後で補助動詞。「お乗せ申し上げて」。謙讓。

---

**Q69. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御前にうち**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**「うち」は接頭語で、直前は実質「御前に」（目的地）。本動詞で「御前に参上する」。謙讓。

---

**Q70. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御飯（いひ）**参る**。

**答え：**本動詞・尊敬「参る」（召し上がる） **解説：**「御飯」は食事。主語が貴人で「食ふ」の尊敬＝「召し上がる」。尊敬。

---

**Q71. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

経（きやう）を読み**参る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説：**「読み」は四段「読む」連用形。連用形＋参るで補助動詞。「読み申し上げる」。謙讓。

---

**Q72. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

寺々に**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「寺々に」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「方々の寺に参詣する」。謙讓。

---

**Q73. 次の傍線部「参らせ」を識別せよ。**

玉（たま）を**参らせ**けり。

**答え：**本動詞・謙讓「参らす」（差し上げる） **解説：**「参らせ」は「参らす」連用形。直前「玉を」は物。本動詞で「玉を差し上げた」。謙讓。

---

**Q74. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御簾巻き上げて**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**「巻き上げて」の後、移動して仕える文脈。目的地への本動詞「参上する」。謙讓。

---

**Q75. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御前に御台**参る**。

**答え：**本動詞・尊敬「参る」（召し上がる） **解説：**「御台」は食膳（食事）。主語が貴人で「食ふ」の尊敬＝「召し上がる」。尊敬。

---

**Q76. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

慕ひ**参る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説：**「慕ひ」は四段「慕ふ」連用形。連用形＋参るで補助動詞。「お慕い申し上げる」。謙讓。

---

**Q77. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御前にやがて**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「御前に」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「御前にすぐ参上する」。謙讓。

---

**Q78. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御文を持って**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**「持て」（持って）＋移動の「参る」。目的地へ持参する本動詞「持って参上する」。謙讓。

---

**Q79. 次の傍線部「参らする」を識別せよ。**

御琴を教へ**参らする**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参らす」（～申し上げる） **解説：**「参らする」は連体形。連用形「教へ」の後で補助動詞。「お教え申し上げる」。謙讓。

---

**Q80. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御加持（かぢ）に**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「御加持に」は目的（祈祷）を示す体言＋格助詞。本動詞で「御加持に参上する」。謙讓。

---

## 【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

---

文脈・主語・対象を総合して、本動詞（参上／差し上げる）・補助動詞・尊敬を判別する。

---

**Q81. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

后、御前にて御物**参る**。

**答え：**本動詞・尊敬「参る」（召し上がる） **解説：**主語「后」（貴人）、対象「御物」（食事）。「食ふ」の尊敬＝「召し上がる」。尊敬。

---

**Q82. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

中宮に御文を**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（差し上げる） **解説：**差し出す物「御文を」が直前。本動詞で「中宮にお手紙を差し上げる」。謙讓。

---

**Q83. 次の傍線部「参り」を識別せよ。**

大臣、内裏に**参り**給ふ。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**「参り」連用形、直前「内裏に」（目的地）で本動詞「参上する」。「給ふ」は尊敬で二重敬語。「大臣が内裏に参上なさる」。

**Q84. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

あけくれ思ひ**参る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説：**「思ひ」は四段連用形。連用形+参るで補助動詞。「明け暮れ思い申し上げる」。謙讓。

**Q85. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御山（みやま）に**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「御山に」は目的地（霊山）の体言+格助詞。本動詞で「御山に参詣する」。謙讓。

**Q86. 次の傍線部「参らせ」を識別せよ。**

御消息（せうそこ）を**参らせ**たり。

**答え：**本動詞・謙讓「参らす」（差し上げる） **解説：**「参らせ」は「参らす」連用形。直前「御消息を」（手紙・物）で本動詞「差し上げる」。「お便りを差し上げた」。謙讓。

**Q87. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

いたはり**参る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説：**「いたはり」は四段「いたはる」連用形。連用形+参るで補助動詞。「お世話申し上げる」。謙讓。

**Q88. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

上の御前に**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「御前に」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「帝の御前に参上する」。謙讓。

---

**Q89. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御菓を強ひて**参る**。

**答え：**本動詞・尊敬「参る」（召し上がる） **解説：**「御菓」は飲み物で主語が貴人。「飲む」の尊敬＝「無理にでも召し上がる」。尊敬。

---

**Q90. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御後（しり）に立ちて**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**移動・お供の文脈で、目的地（貴人のもと）への本動詞「参上する」。「お後に従って参上する」。謙讓。

---

**Q91. 次の傍線部「参らする」を識別せよ。**

助け**参らする**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参らす」（～申し上げる） **解説：**「参らする」は連体形。連用形「助け」の後で補助動詞。「お助け申し上げる」。謙讓。

---

**Q92. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御前に文を持ちて**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**「持ちて」＋移動の「参る」。目的地へ持参する本動詞「持って参上する」。謙讓。

---

**Q93. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

君に御衣を**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（差し上げる） **解説：**差し出す物「御衣を」が直前。本動詞で「君にお召し物を差し上げる（お着せ申し上げる）」。謙讓。

---

**Q94. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御前にて御酒など**参る**ほどに。

**答え：**本動詞・尊敬「参る」（召し上がる） **解説：**「御酒など」は飲み物で主語が貴人。「飲む」の尊敬＝「お酒などを召し上がる間に」。尊敬。

**Q95. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

心ざし深く仕へ**参る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説：**「仕へ」は下二段「仕ふ」連用形。連用形＋参るで補助動詞。「お仕え申し上げる」。謙讓。

**Q96. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

法皇（ほふわう）の御所に**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「御所に」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「法皇の御所に参上する」。謙讓。

**Q97. 次の傍線部「参らせ」を識別せよ。**

文をこそ**参らせ**め。

**答え：**本動詞・謙讓「参らす」（差し上げる） **解説：**「参らせ」は「参らす」未然形。意志「む」が付き、係助詞「こそ」を受けて已然形「め」で結ぶ。直前「文を」（物）で本動詞「差し上げよう」。謙讓。

**Q98. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

御湯（ゆ）を**参る**。

**答え：**本動詞・尊敬「参る」（召し上がる） **解説：**「御湯」は飲み物。主語が貴人で「飲む」の尊敬＝「召し上がる」。尊敬。

**Q99. 次の傍線部「参る」を識別せよ。**

守りにつき**参る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「参る」（～申し上げる） **解説：**「いつき」は四段「いつく」連用形。連用形＋参るで補助動詞。「大切にお世話申し上げる」。謙讓。

---

### Q100. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

はるばると都に**参る**。

**答え：**本動詞・謙讓「参る」（参上する） **解説：**直前「都に」は目的地の体言＋格助詞。本動詞で「はるばると都に参上する」。謙讓。

---

## 採点振り返り

おつかれさまでした。間違えた問題は、「参る」の**直前の語と対象**をもう一度確認しましょう。

- **本動詞・謙讓**「**参上する**」…体言（**場所**）＋参る。「内裏に参る」。
- **本動詞・謙讓**「**差し上げる**」…体言（**差し出す物**）＋参る。「御文を参る」。
- **補助動詞・謙讓**「**～申し上げる**」…**連用形**＋参る。「思ひ参る」。
- **本動詞・尊敬**「**召し上がる**」…**飲食物**＋参る、主語が貴人。「御薬参る」。
- **関連語**「**参らす**」…本動詞「差し上げる」／補助動詞「～申し上げる」。

「参る」は原則謙讓、飲食の場面だけ尊敬。直前を見るだけで一瞬で見分けられます。敬語は主語判定に直結するので確実にしましょう。

---

この問題集は無料です。古文の他の敬語（給ふ・奉る・侍り候ふ）のドリルや、文法解説とあわせてご活用ください。

**誰でも古典塾** (<https://kotennosensei.com>) / 個別指導塾フィット・中本裕太